

か け は し

あいさつを「学校」「家庭」から地域の中で・・・

6月の児童朝会の中で、子どもたちにあいさつを地域の中でもしていこうという話をしました。あいさつについては、昨年から取り組んでいることですが、学校内でのあいさつはよくできるようになったと思います。家庭ではどうでしょうか。あいさつは、子どもたちからできるものではなく、大人がきちんと教える一つの「しつけ」だと思います。家庭の中では、お子さんに「おはよう、いってらっしゃい、おかえり、おやすみ」等の基本的なあいさつは大人からしていくように心がけたいものです。家庭や学校でのあいさつができれば、子どもたちの意識には、「あいさつは自分からしても、相手からされても気持ちの良いものだ」と実感できるはずです。

今年は、地域の中であいさつが少しでも広がるようになればと思います。知らない人に自分からあいさつをすることは勇気のいることだと思います。また、少し前までは、不審者等の対策から知らない人から声をかけられたり、かけたりすることをしないようにしていました。その点がまだ、不安な面がありますが、公民館等の会議では、地域の自治委員さん等には、大人から声かけをすることや、学校公開日には是非参加して、子どもたちに顔を覚えてほしいこともお願いしています。

あいさつは人と人、心と心をつなぐキャッチボールです。声を出さなくても「会釈」でもかまわないと思います。朝の子どもたちの登校の様子を見ている中で、横断歩道で止まった車に渡り終えたあと、お辞儀をしている子どもたちも多く見かけるようになりました。運転手にとっては、とても気持ちのよい行動だと思います。

地区連絡会の参加ありがとうございました。

5月下旬から6月上旬にかけて地区連各会が開かれ、各地区の危険箇所について意見要望等が出されました。担当者がまとめている段階ですが、学校としては、すぐできることは早急に取り組み、難しい件については、教育委員会と相談し、中津市の道路課、県土木事務所、警察等へ要望として出していきたいと考えています。

前任校での例ですが、大栄から緑中へ向かう歩道と車道の間のガードレールについては、できるまでに4年かかりました。全てのことがすぐには解決できないかもしれませんが、繰り返し、繰り返し要望をしていきたいと思えます。

～豊かな言葉遊びの世界を～

私たちの子どもの頃は、日常的な遊びを通して言葉を増やし、様々な知識や知恵を育んだ経験があります。「さよなら三角また来て四角、四角は豆腐、豆腐は白い、白いはうさぎ・・・」といったしりとり歌。「となりの客はよく柿くう客だ。」などの早口言葉。「上から読んでも新聞紙、下から読んでも新聞紙」といった回文作りなどを楽しんでいました。このような遊びの中で、知らず知らずのうちに言葉や知識を増やしてきました。

評論家の森本哲郎さんは、ある著書の中で、年々書物が情報化されることを嘆いて、「情報社会は、知恵を知識に変える。情報化とは人間にとって何より大切な知恵が、ついには情報になりさがることなのである。」と述べています。そして、「自分にとっての大切な一冊を探すということは、逆に、数限りない情報の中から知識を求め、求めた知識をさらに知恵にまでひき上げようとする作業ではないか。」と述べています。

言葉も同様です。今日、テレビをはじめとする様々な情報機器の発達によって、子どもたちを含め、私たちの周りには言葉が溢れています。しかし、それらの言葉の中から、自分にとって大切な言葉、生きた言葉、生きる力につながる言葉を探す営みこそが必要になってきています。その大切な言葉を探す鍵の一つになるのが、今日に伝わり、今日まで生き続けてきた、声に出して遊ぶしりとり歌をはじめとする多様な「言葉遊び」ではないかと思われまます。

言葉の比重が軽くなり、意味不明な言葉が増えつつある今日、そうした言葉遊びの世界を取り戻すことがますます必要な時代になってきているように思われまます。

※田んぼには入らないように・・・

沖代平野は、田植えのシーズンになりました。この頃になると、毎年学校にお叱りの電話があります。子どもたちが田んぼに入ったり、水路の板をはずしたりして大変困るという内容です。学校では毎年指導していますが、家庭でも指導するようお願いいたします。

6月の生活目標

雨の日の過ごし方を考えよう

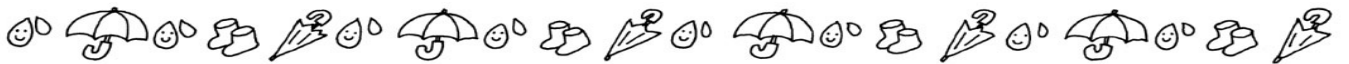
6月は梅雨に入り、雨が降る日が多くなります。そんな日は運動場で遊ばず、室内で過ごさなければなりません。雨の日の廊下は濡れていて滑りやすくなっています。各学年や学級で安全に楽しい過ごし方を話し合い、落ち着いて行動するように指導しています。

雨の日の休み時間の過ごし方

- ・教室で静かに過ごす。
- ・図書室で読書をする。
- ・教室や廊下で走ったり、暴れたりしない。
- ・雨があがっても運動場に水たまりがある時は、運動場では遊ばない。

<保護者のみなさんへお願い>

車での送り迎えは、安全のため校門の近くに停車されるのはご遠慮ください。(朝は校内への車の乗り入れはご遠慮ください。)雨天でも、けが等の事情のない限り、歩いて登校するようにお願いします。



田植えの季節になります

田植えの季節になると、田んぼに水が入ります。毎年この時期になると、「子どもたちが田んぼの水をせき止めている板をはずすいたずらをして困る。」という苦情が寄せられます。また、水路の水が増え、近くで遊んでいると大変危険です。

特に低学年の子どもたちは話をしただけでは伝わらないこともあるので、教室で写真を見せて指導したり、校区探検の時などに実際に現地に行って指導したりしています。



この板を さわってはいけません！！

<家庭や地域の方へお願い>

子どもたちがあぜ道を通っていたり、いたずらをしていたりしているのを見かけた時は、注意をしてください。また、学校へも連絡をください。



交通の安全を確認しましょう。決まった通学路を歩きましょう。

地域の方々から、子どもの車道への飛び出しや道路以外の通行(田のあぜ・駐車場・フェンスを乗り越えている)等をしているとの連絡がありました。学校でも登下校の仕方を確認したり、交通安全教室を開いたりして指導しています。6月6日には地区を歩き、下校指導も行いました。ご家庭でも再度交通ルールや通学路の確認をしてください。あわせて自転車の乗り方も折に触れてお話してください。